

第5学年 チャレンジタイム 学習活動案

札幌市立苗穂小学校 教諭 安永詠子・小松裕和

1. 単元名 『情報発信基地 in 苗穂』 ～ こちら、苗穂放送局 ～

2. 単元の展開にあたって

「おもしろい！」



「どうだろう？」

発信



相手意識



見方・考え方の
広がり

社会科との

関連づけ



「苗穂放送局」

子供の思いを
生かす活動構成

苗穂らしさ



建 物
交 通



住む人にとって



「人」への意識

子供たちは、昨年度のチャレンジタイムで「苗穂の地域探検」ということで、自分で調べてみたいこと（歴史や自然、お店など）を調査し、まとめる活動を行ってきた。

また、1学期には、音楽の学習をきっかけに「音楽会を開こう」ということで、いろいろな民族楽器に触れたり、音楽を聴いたりしながら自分たちでも楽器を作ったり、作曲したりしようと本やコンピュータを活用して取り組んできた。

子供たちは、このような活動を通して、「チャレンジタイムは、自分のやりたいことができる。」「おもしろい。」という意識をもち始めている。

しかし、これまでの取り組みは、どちらかというと、自己満足的な要素が強く、やれば終わりという意識も見られた。

そこで、2学期には、このような実態を踏まえ、自分たちから地域のことを積極的に発信させることで、受け手(相手)のことを考えるという新しい視点で物事をとらえさせることができると考えた。

発信する方法については、これまでの経験や体験などを生かし、新聞などを用いながら取り組むこともできるが、新しい発信方法で、本物の体験をさせたいという思いから社会科と関連づけながら地域のボランティア（ミニFM放送局）の協力で、実際に放送



する活動を組めるようにした。

このFM放送局という単元は、大きく3つの小单元から構成することを考えた。

その1つは、「苗穂リサーチ」から始まる地域の有名な建物や歴史を紹介していく放送局である。子供たちは、「苗穂＝JR、ビール工場」など建物を中心として苗穂の特徴をとらえている。

また、苗穂地域は、JRや札幌ビール工場など歴史的にも古くから発達した地域で、近年は北海道大学への留学生など海外からの滞在者も多くなり、その子弟も本校に在籍しているのが現状である。

このような子供たちの思いや地域の様子を生かしながら番組作りをしていくことで、子供たちは、新しい視点である「人」への意識

「情報発信基地 in 苗穂」

～こちら、FM放送局～

<FM放送局 Part 1>

～苗穂の有名な所紹介～

<FM放送局 Part 2>

～苗穂の外国人紹介～

<FM放送局 Part 3>

～外国人から見た苗穂を

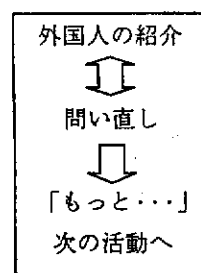
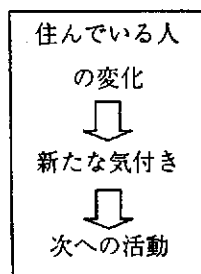
知らせよう～

<自分たちにできることを

考えよう>

～外国から来た人にして

あげられることを考えよう～



地域のボランティアの方々の協力をいただいて

地域との相互交流を通して見方・考え方の広がりを

をもつことができると考えている。

この「人」への意識を取り上げ、地域に住む人を調査することで、子供たちは、外国から来ている人たちへも目が向き、「自分たちも知らなかった」という思いから「地域へもっと紹介しよう」と次の活動を始めていくと考えている。

「人」に焦点を当てさせることは、変化してきている苗穂地域の特徴をつかませると同時に、海外から来ている人たちとの交流を通して、自分たちの気づかなかった地域のよさや問題点などを発見する機会になると考えている。

そこで、「パート2」では、子供たちの思いを十分に広げ、ゆったりと活動ができるように大きく2つに分けることにした。

その1つは、「外国から来た人を紹介したい」という思いを大切に「外国人を紹介しよう」である。

子供たちにとっては、新しい視点となるので、「どこから来たのか」「何しに来たのか」など内容的には簡単な紹介で終わると考えられるが、コミュニケーションの問題など乗り越えるハードルは大きいと考えている。

しかし、このような出会いの場を十分に保障していくことで、子供たちの外国人への抵抗感も少なくなり、進んでコミュニケーションをとるのではないかと考えている。

また、子供たちは、苦勞してコミュニケーションをすることで、海外から来ている人たちの情報をいろいろな人に伝えたいという思いをもつと考えている。

この思いから「パート3」では、外国から来た人たちとの交流の中で分かった「外国の人たちの悩みや日本との違い」を紹介しようと意識が向くのではないかと考えている。

このような日本との違いや外国の人から見た苗穂地域のよさを取り上げていくことで、子供たちは新しい見方や考え方に気づき、悩みや問題点を自分たちでも解決していこうとするのではないかと考えている。

この「自分たちにできること」を考えさせ、活動させていくことが、国際理解教育の共生の心を育てることにつながっていくと考えている。

このような子供たちの思いを原動力として、本物体験である「苗穂放送局」「自分たちにできること」に向けて取り組ませることは、地域とのふれ合いを通していろいろな見方、考え方に触れ、共生という素地を育てることになる。

また、社会科との関連も含め、放送に携わる人々の仕事や苦勞・工夫など既習を生かしながら学習を進めていくことは、子供たちにとっては、初めての体験であり、実際に放送が流されるということやそれを聴いた人たちからの反応もあることから活動への成就感や満足感もある。

子供たちには、地域との相互のふれ合いの中で、新しい発見や見方・考え方に触れ、広い視野で物事を見つめられるようになることを願っている。

この単元で気づいた見方や考え方は、すぐに地域の方々に返るわけではないが、自分たちが主体的に発信し、そこから返る情報をさらに生かしていくというスパイラルな流れにしていくことで、子供たちは、より主体的に学んだり、人やものとかかわりをもとうとするのではないかと考えている。



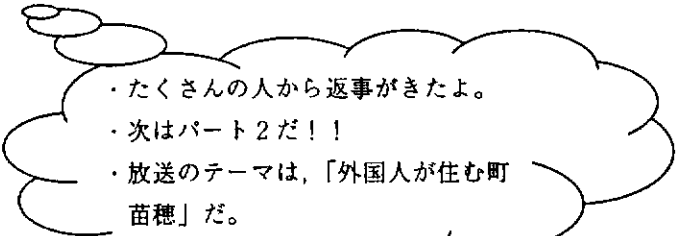
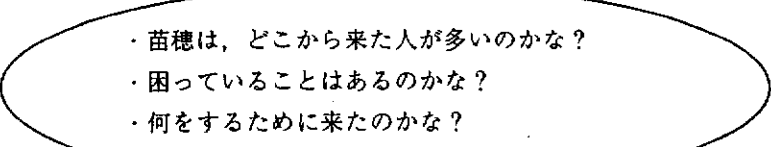
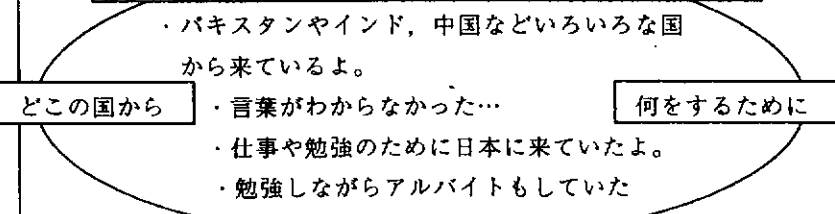
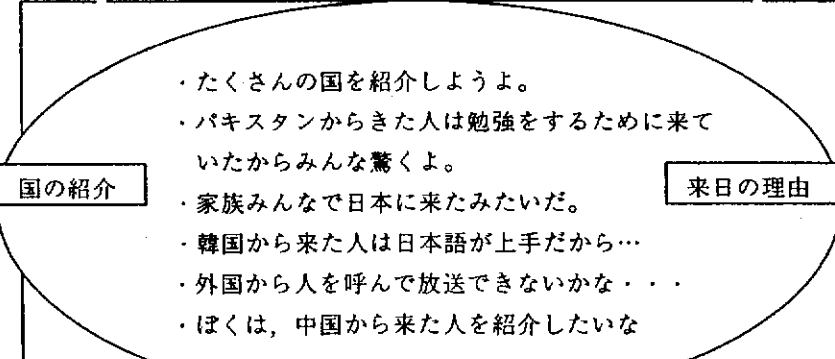
3. 単元目標

(自立の力)番組作りを通して、外国から来た人と進んでかわり、情報を集めようとする。

(共生の力)自分たちと違った文化や見方・考え方に触れることで、互いのよさを見つけようとする。

(コミュニケーション能力)番組作りやFM放送を通して得た情報を進んで活用し、よりよい番組を作ることができる。

4. 単元の構成 (25時間扱い)

時	子 供 の 活 動	教師のかかわり
1 ・ 2	 ・ たくさんの人から返事がきたよ。 ・ 次はパート2だ!! ・ 放送のテーマは、「外国人が住む町 苗穂」だ。 F M 放送で「外国人が住む町、苗穂」を紹介しよう	●これまで調べてきたことを表出させ、地域に住む人たちの変化に意識を広げる。
3 ・ 4	 ・ 苗穂は、どこから来た人が多いのかな? ・ 困っていることはあるのかな? ・ 何をするために来たのかな? 苗穂に住む外国人について調べてみよう	●東区の在日外国人が1300人いるという事実からそれぞれの思いや考えを広げる。
5	 ・ パキスタンやインド、中国などいろいろな国から来ているよ。 どこの国から ・ 言葉がわからなかった… 何をするために ・ 仕事や勉強のために日本に来ていたよ。 ・ 勉強しながらアルバイトもしていた	●社会科の関連から番組を作るときに気をつけなければならないことを想起させながら地域へ伝えたい内容について支援する。
6 ・ 7	外国の人を紹介しよう Part 1 ～紹介する内容を考えよう～  ・ たくさんの国を紹介しようよ。 ・ パキスタンからきた人は勉強をするために来ていたからみんな驚くよ。 ・ 家族みんなで日本に来たみたいだ。 ・ 韓国から来た人は日本語が上手だから… ・ 外国から人を呼んで放送できないかな… ・ ほくは、中国から来た人を紹介したいな 国の紹介 来日の理由 いろいろな国から苗穂にやって来た 中国 パキスタン 韓国 メキシコ フィリピン ・ 家族構成を知らせよう ・ 来た人の国も紹介しよう ・ 何人位来ているのか知らせよう	●調査する内容を明確にさせ、そのための質問やかかわり方についてグループ交流を促す。 ●それぞれの内容・国ごとにグループを編成し、内容の交流を図る。 ●それぞれの思いが生きるような放送のテーマを作るように支援する。

8

9

自分たちの番組シナリオを作って放送しよう

- ・たくさんの人たちに聴いてもらいたい
- ・みんなに宣伝しようよ
- ・ポスターや新聞で知らせよう

地域の人に知らせるポスターを作ろう

- ・工夫をしよう
- ・時間やチャンネルはもっと目立つように・・・
- ・いろいろな所にポスターを貼ろう
- ・感想も聞きたいから連絡先を入れよう

10

準備ができたところからリハーサルをしよう

11

進行係

音楽係

DJ担当

AD担当

クイズ係

- ・インタビューの内容は大丈夫かな・・・
- ・音楽はスムーズに流れるかな・・・
- ・時間内に終わるかな・・・

12

第2弾「苗穂に住む外国人を紹介しよう」を放送しよう

13

- ・みんな聴いてくれるかな・・・
- ・どんな感想を送ってくれるかな・・・
- ・うまく話せるかな・・・

いろいろな感想が
返ってきたよ困っていることなども
紹介したほうがいいよみんな驚いていた
ようだね

14

外国の人を紹介しよう Part 2

15

～苗穂の印象や困っていることを知らせよう～

困っている
こと

- ・調査の中で、食べ物が無いことを困っていたけど・・・
- ・地下鉄など便利だけど、高いっていついていたよ
- ・買い物などで表示が日本語だけだから困って
- ・苗穂は自然がたくさん残っていてすばらしいといっていたよ

苗穂の
印象

苗穂をもっとよくしよう

メキシコ

中国

パキスタン

韓国

フィリピン

- ・買い物では困っていることが多いね
- ・お店の人たちに表示のお願いができないかな
- ・地域のイベントにも参加してもらいたいね

●第1弾のリスナーの反応から聴いてもらいたいという思いを広げ、そのための活動を促す。

●VTの方にも来てもらい、放送内容へのアドバイスを支援する。

●地域の反応から放送したことへの思いを深め、よりよい番組を作るための交流を図る。

●調査する内容を明確にさせ、そのための質問やかわり方についてグループ交流を促す。

●それぞれの内容・国ごとにグループを編成し、内容の交流を図る。

●それぞれの思いが生きるような放送のテーマを作るように支援する。

16
本
時
・
17

苗穂に住む外国人について困っていることなどを調べよう

地域にしてほ
しいこと

- ・ ぼくたちにできることは、何だろう
- ・ もっとその国を紹介しよう
- ・ 日本との違いをはっきりさせよう
- ・ 外国から来た人にも聴いてもらおう
- ・ 苗穂のスポットを紹介していこう

苗穂で知り
たいこと

●放送内容と聞きたいこと
をはっきりさせ、進んでか
かることができるよう
に支援する。

18
・
19

自分たちの番組シナリオを作って放送しよう

- ・ たくさんの人たちに聴いてもらいたい
- ・ みんなに宣伝しようよ
- ・ ポスターや新聞で知らせよう

地域の人に知らせるポスターを作ろう

- ・ もっと工夫をしたポスターを作ろう
- ・ 今回のポイントを目立つようにしよう・・・
- ・ 外国の人が行く所にポスターを貼ろう
- ・ 感想も聞きたいから連絡先を入れよう

●第2弾のリスナーの反応
から聴いてもらいたいと
いう思いを広げ、そのため
の活動の工夫を促す。

●V Tの方にもきてもらい、
放送内容へのアドバイス
を支援する。

20
・

準備ができたところからリハーサルをしよう

21

進行係

音楽係

D J 担当

A D 担当

クイズ係

- ・ インタビューの内容は大丈夫かな...
- ・ 話してもらう内容は大丈夫かな...
- ・ 時間内に終わるかな...

22
・

第3弾「苗穂に暮らす外国人を紹介しよう」を放送しよう

- ・ みんな聴いてくれるかな・・・
- ・ どんな感想を送ってくれるかな・・・
- ・ うまく話せるかな・・・

23

外国の人も感想を
書いてくれたよ

お店の人は努力して
くれるって

放送するだけでな
く、できることをし
ていきたいね

●地域の反応から放送した
ことへの思いを深め、より
よい苗穂を作るための交
流を図る。

24
・

F M 放 送 を 振 り 返 ろ う

25

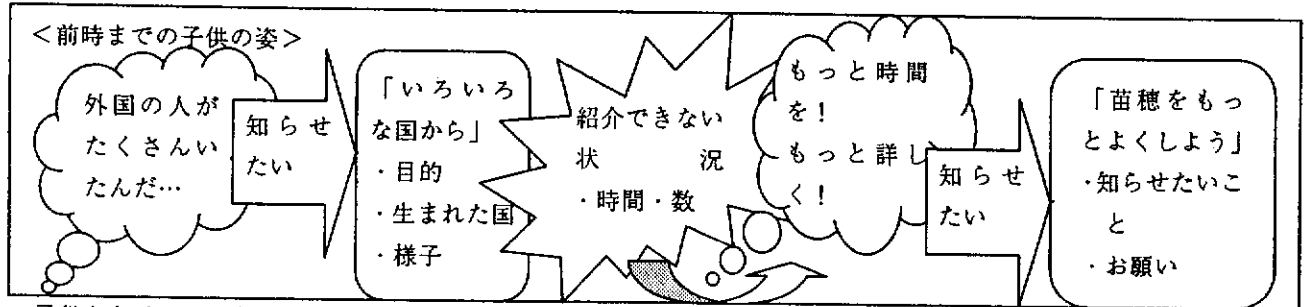
地域の
紹介

- ・ 地域の人たちは喜んでくれたからよかったね
- ・ 知らなかったこともたくさん発見したよ。
- ・ 放送するって難しいことだった...
- ・ 外国の人にも協力することができたよ。
- ・ 協力してくれた人へお礼をしよう。

外国からき
た人の紹介

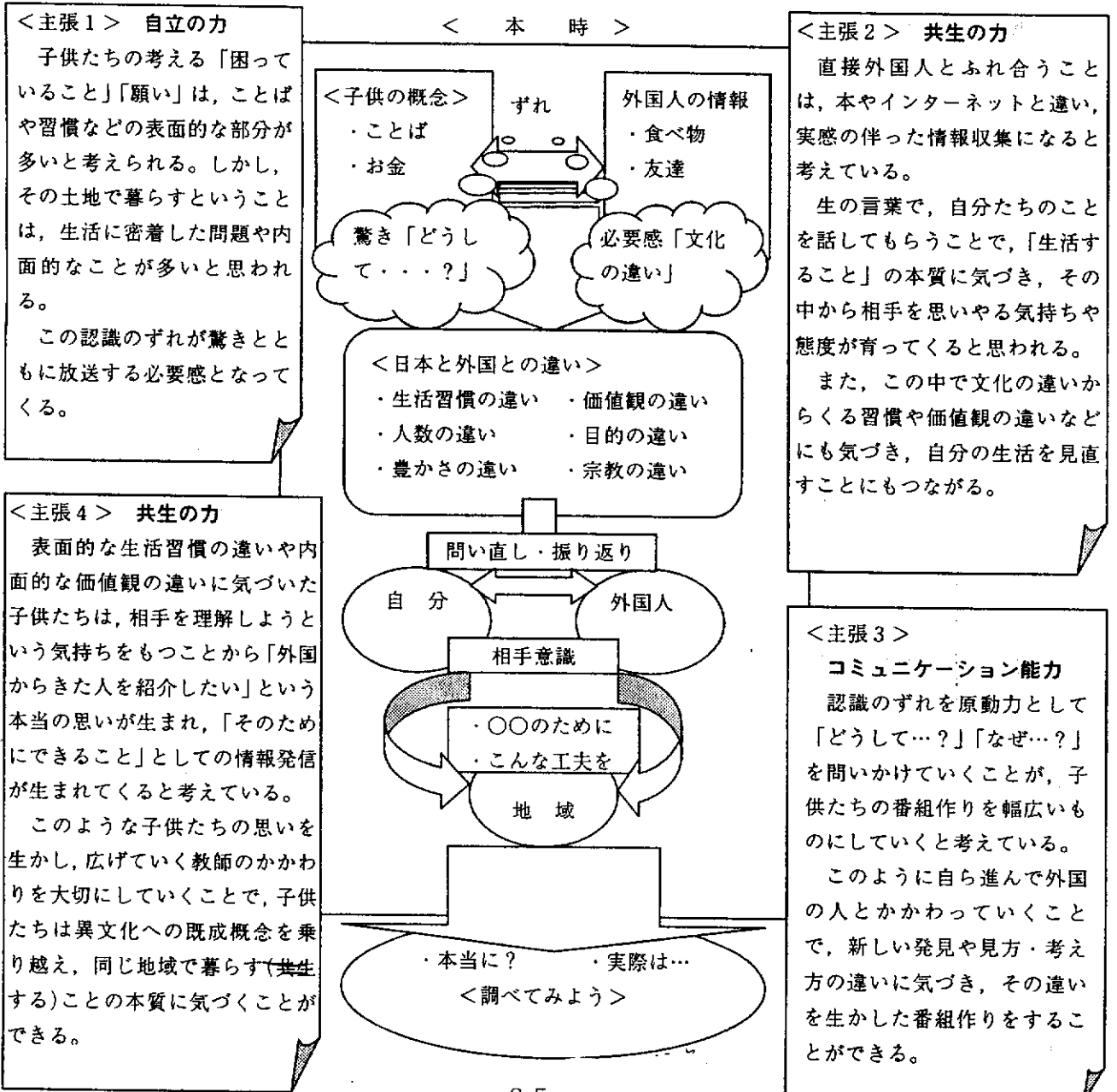
●自分たちの活動を振り返
り、いろいろな人とかわ
ったことへの思いや番組
作りでの思いの交流を図
る。

5. 本時の主張



子供たちは、これまでの学習の中で、「外国から来た人を紹介したい」という思いで第2回目の放送活動を進めてきた。しかし、この放送は短い時間内で、多くの国を紹介していくことになるので、内容的なことが不足していることに気づいていく。また、外国から来た人たちへの調査活動の中では、「苗穂の印象」や「困ったこと」などの情報も入手してくると思える。

このような情報を流せない状態の中で、子供たちは、「もう一度、詳しく放送をして、地域の人たちに知らせたい」という思いを強くもつと考えている。この思いを原動力として、第3回目(苗穂に暮らす外国人を紹介しようパート2)の放送をスタートさせたいと考えた。



6. 本時の目標

(自立の力)自分の課題をもとにして、放送する内容を考えようとする。

(共生の力)聞いた情報をもとにして、住んでいる外国の人たちのことを考えようとする。

(コミュニケーション能力)友達や外国の人とかかわりながら進んで交流することができる。

7. 本時の展開 (16/26)

子供の活動	教師のかかわり
紹介したい人(国)ごとに分かれて内容を考えよう 中国 バキスタン 韓国 メキシコ フィリピン ・買い物では困っていることを聞こう ・お店の人たちに表示のお願いができないかな ・どんな地域の会に参加したいのかな 苗穂に住む外国人と一緒に放送内容を考えよう	●放送内容と聞きたいことをはっきりさせ、進んでかかわることができるように支援する。
メキシコ バングラディシュ 中国 韓国 ・日本と大きく違うところは何か? ・メキシコの食べ物を紹介したいけど、地域に知らせたいことは・・・ ・困っていることは... ・苗穂のことで知りたいことは? ・苗穂は住みよい町ですか? ・地域にこんなお願いをしようと思うけど... ・地下鉄があって便利ですが、国にはありましたか? ・公園や緑はたくさんありましたか? ・参加したい催しものはありますか... - 案内板に韓国語を付けたら喜んでもらえる? ・森林破壊はどうなっていますか。 ・食べ物で困ることは... 予想していたことと違う! どうして...? こんなことで困っていたんだ... こんな放送を流さない... こんな違いあるから、お願いしよう ・聞いたことを生かした番組作りをしよう。 ・地域の人たちに番組の宣伝をしよう。 ・もっといろいろな国も紹介していこう。	●その国の具体的な情報を得られるように子供の質問を支援する。 ●VTには、写真や具体物を用意してもらい、子供たちの感想から話題を広げていく。 ●外国人との交流で得た情報と自分たちの情報を比較させ、放送に生かせるように支援する。 ●外国の人との交流を通して感じたことを全体に広げる。